

## 電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要

### <団体情報>

担当小委員会	第 26 小委員会
事務局	一般社団法人 日本溶接協会

### <規格情報>

規格番号（発行年）	JIS C 9300-6（2022）
対応国際規格番号：発行年	IEC60974-6：2015（Ed.3.0）
規格タイトル	アーク溶接装置—第 6 部：限定使用率アーク溶接装置
適用範囲に含まれる主な電気用品名	アーク溶接機（プラズマ切断機を除く）
廃止する基準（発行年）及び有効期間	J60974-6(H26) / 有効期間 3 年間
雑音の強さ（当てはまらない選択肢を消去）	・この規格を適用

### <審議中に問題となったこと>

a) 技術的差異 IEC 規格と整合を取るよう図り、我が国固有の電源に関連する項目およびエンジン溶接機に関する項目以外に技術的差異を設けない方針とした。
b) 電磁両立性（EMC）要求事項 電気用品安全法の雑音の強さを適用できるようにするために、EMC 要求事項を設けた。

### <主な国際規格との差異の概要とその理由>

現在の別表第十二に採用されている技術基準とは相違する主なデビエーション。

項目番号	概 要	理 由
19A	電磁両立性（EMC）要求事項	電気用品安全法の雑音の強さを適用できるようにした。

### <主な改正点>

1) 試験項目及び電撃防護などで、引用している規格 JISC9300-1 溶接電源 が改訂されたため、これと整合をとるために、改正を行った。
2) 電気用品安全法に該当する装置が雑音の強さを満たすように、電磁両立性（EMC）要求事項を追加した。

## 技術基準との整合確認書

<技術基準省令への整合性>

規格番号：JIS C 9300-6:2023      規格名： アーク溶接装置—第 6 部：限定使用率アーク溶接装置

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第1項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	■該当 □非該当	箇条 4	環境条件 溶接電源及び補助装置は、次の環境条件下で、運転する能力をもっていなければならない。 a) 周囲温度範囲は、次による。 運転時：－10℃～＋40℃  溶接電源及び補助装置は、機能及び性能が損なわれることなく周囲温度－20℃～＋55℃での保管及び輸送に耐えなければならない。	
				箇条 6.2	定常作業における電撃からの保護（直接接触） 溶接電源は、JIS C 0920 に規定する IP21S 以上の保護等級に適合しなければならない。	
				箇条 12	出力 アーク溶接電源のための定格無負荷電圧 定格無負荷電圧は、次の a) 及び b) の値を超えてはならない。 a) 直流ピーク値が 113 V b) 交流ピーク値が 68 V，及び実効値が 48 V	

## 技術基準との整合確認書

					JIS C 9300-1 の 14.1（一般要求事項）による。	
第二条 第 2 項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	■該当 □非該当	箇条 5.4	形式試験 溶接電源は、試験結果に影響を及ぼすことが予測される補助装置及び附属装置を装備して試験する。 全ての形式試験は、他の溶接電源を用いて試験してもよいと規定した場合を除き、同一の溶接電源を用いて実施する。	
第三条 第 1 項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	■該当 □非該当	箇条 9          箇条 9.3          箇条 10	温度保護装置 温度保護装置は、次の事項がいずれもできない構造でなければならない。 a)温度設定を変更する。 b)物理的損傷を加えないでその動作を変更する。 c)自動又は手動でリセットする。 動作 温度保護装置は、溶接電源が表 2 に規定する過負荷状態の最高温度限度値を超えることを防止しなければならない。 異常動作 溶接電源は、10.2 及び 10.3 に規定する試験の異常な運転状態において、危険な電氣的破壊又は火災の危険を起こしてはならない。これらの試験は、溶接電源各部の到達温度及び溶接電源が正常に機能しているかどうかにかかわらず継続して行う。唯一の判定基準は、溶接電源が危険にならないことである。	

## 技術基準との整合確認書

第三条 第2項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前項の規定による措置のみによってはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	簡条 12	出力  0.2 秒間以内に低減無負荷電圧許容値にならない溶接電源は、JISC 9300-1 の附属書 L のシンボル 84 を付けてはならない。この溶接電源は、前面パネル又は一次入力 ON/OFF 切替装置の近くに、“注意！：感電危険”を意味する次のシンボル (IEC60417-6042) を明瞭かつ、容易に消えないように表示する。	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	簡条 7	温度要求事項 温度保護及び温度制限の機器 溶接電源は、温度保護及び温度制限装置の二つの独立した機器を装備しなければならない。 温度制限装置は、溶接電流を減少又は停止させることによって構成要素の温度を制限し、自動リセットする構造のものとし、かつ、簡条 8 に規定するように設計する。温度制限装置に動作不良が生じた場合、簡条 9 に規定する温度保護装置が動作するように設計する。	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	簡条 4          簡条 6.2	環境条件 溶接電源及び補助装置は、次の環境条件下で、運転する能力をもっていなければならない。 a) 周囲温度範囲は、次による。 運転時：－10℃～＋40℃ 定常作業における電撃からの保護（直接接 きょう体（外箱）による保護	

## 技術基準との整合確認書

				<p>溶接電源は、JIS C 0920 に規定する IP21S 以上の保護等級に適合しなければならない。溶接電源のための遠隔制御装置は、JIS C 0920 に規定する IP2X 以上の保護等級に適合しなければならない。</p> <p>温度要求事項</p> <p>温度保護及び温度制限の機器</p> <p>溶接電源は、温度保護及び温度制限装置の二つの独立した機器を装備しなければならない。温度制限装置は、溶接電流を減少又は停止させることによって構成要素の温度を制限し、自動リセットする構造のものとし、かつ、箇条 8 に規定するように設計する。</p> <p>温度制限装置に動作不良が生じた場合、箇条 9 に規定する温度保護装置が動作するように設計する。</p> <p>表示</p> <p>定格銘板には表形式で区画を設けて、次の情報及びデータを表示する。</p> <p>a) 識別名</p> <p>b) 溶接出力</p> <p>c) エネルギー供給</p>	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	<p>箇条 5.3</p> <p>構成部材の適合性</p> <p>JIS C 9300-1 の 5.3（構成部材の適合性）による。</p> <p>この規定内容は</p> <p>「故障によって危険のリスクが生じるおそれのあ</p>	

## 技術基準との整合確認書

					<p>る構成部材は、この規格の要求事項を満足するか、関連する JIS 若しくは IEC 規格の要求事項を満足するか、又はこれらと同等以上の性能をもたなければならない。</p> <p>注記 0A 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈（20130605 商局第 3 号）を満足する構成部品は、同等以上の性能をもつとみなされている。</p> <p>注記 1 構成部材が、JIS 又は IEC 構成部材規格範囲内にある場合にだけ、適切であるとみなされている。」</p>	
第七条 第 1 号	感電に対する 保護	<p>電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。</p> <p>一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。</p>	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>箇条 6.2</p> <p>箇条 6.2.1.1</p> <p>箇条 6.2.1.3</p>	<p>定常作業における電撃からの保護（直接接触）</p> <p>きょう体（外箱）による保護</p> <p>一般</p> <p>溶接電源は、JIS C 0920 に規定する IP21S 以上の保護等級に適合しなければならない。</p> <p>溶接電源のための遠隔制御装置は、JIS C 0920 に規定する IP2X 以上の保護等級に適合しなければならない。</p> <p>側面及び上面の開口部</p> <p>きょう体（外箱）は、長さ 50 mm の検査プローブが、きょう体の下側を除いた各面から次の箇所に接触するまで挿入できない構造でなければならない。</p> <p>a) 入力回路の充電部品</p> <p>b) クラス II の溶接電源では、基礎絶縁だけで入力</p>	

## 技術基準との整合確認書

				<p>回路の充電部品から分離した全ての金属部分</p> <p>きょう体（外箱）の底面の開口部</p> <p>きょう体（外箱）は、長さ 15 mm の検査プローブが、きょう体の下側から次の箇所に接触するまで挿入できない構造でなければならない。</p> <p>a) 入力回路の充電部品</p> <p>b) クラス II の溶接電源では、基礎絶縁だけで入力回路の充電部品から分離した全ての金属部分</p>	
<p>第七条 第2号</p>	<p>感電に対する 保護</p>	<p>二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。</p>	<p>■該当 □非該当</p>	<p>箇条 6.1.1 電撃に対する保護 絶縁 JIS C 9300-1 の 6.1.1（一般要求事項）による。</p> <p>箇条 6.1.2 空間距離 JIS C 9300-1 の 6.1.2（空間距離）による。</p> <p>箇条 6.1.3 沿面距離 JIS C 9300-1 の 6.1.3（沿面距離）による。</p> <p>箇条 6.1.4 絶縁抵抗 JIS C 9300-1 の 6.1.4（絶縁抵抗）による。 この箇条の内容は「絶縁抵抗は、表 3 で示す値以上でなければならない。」</p> <p>箇条 6.1.5 絶縁耐力 JIS C 9300-1 の 6.1.5（絶縁耐力）による。</p> <p>箇条 6.3.6 故障状態の接触電流</p>	

## 技術基準との整合確認書

					<p>重み付けした接触電流ピーク値は、外部保護導体が故障又は断線した場合、7mA 以下でなければならない。</p>	
<p>第八条</p>	<p>絶縁性能の保持</p>	<p>電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。</p>	<p>■該当 □非該当</p>	<p>箇条4</p>	<p>環境条件</p> <p>溶接電源及び補助装置は、次の環境条件下で、運転する能力をもっていなければならない。</p> <p>a)周囲温度範囲は、次による。 運転時：－10℃～＋40℃</p> <p>b)大気の相対湿度は、次による。 －40℃で50%以下 －20℃で90%以下</p> <p>c)周辺の大気は、異常な量の粉じん、酸性物、腐食性ガス、腐食性物質などを含んでいない。ただし、溶接作業で発生したものを除く。</p> <p>d)標高は、海拔1000m以下。</p> <p>e)設置場所の傾斜は、10°以下。</p> <p>溶接電源及び補助装置は、機能及び性能が損なわれることなく周囲温度－20℃～＋55℃での保管及び輸送に耐えなければならない。溶接電源及び補助装置は、＋20℃において定格連続溶接時間及び1時間における定格溶接時間の運転を実現する能力がなければならない。</p>	
				<p>箇条6.1.4</p>	<p>絶縁抵抗</p> <p>JIS C 9300-1 の6.1.4（絶縁抵抗）による。</p>	



## 技術基準との整合確認書

				<p>この箇条の内容は「絶縁抵抗は、表3で示す値以上でなければならない。」</p> <p>絶縁耐力</p> <p>JIS C 9300-1 の6.1.5（絶縁耐力）による。</p>	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>箇条 7.1</p> <p>温度保護及び温度制限の機器</p> <p>溶接電源は、温度保護及び温度制限装置の二つの独立した機器を装備しなければならない。</p> <p>温度制限装置は、溶接電流を減少又は停止させることによって構成要素の温度を制限し、自動リセットする構造のものとし、かつ、箇条8に規定するように設計する。温度制限装置に動作不良が生じた場合、箇条9に規定する温度保護装置が動作するように設計する。</p> <p>箇条 7.4</p> <p>温度上昇限度</p> <p>巻線、整流子及びスリップリング</p> <p>巻線、整流子及びスリップリングの温度は、表1に規定する絶縁クラスの温度上昇限度以下でなければならない。いかなる部分も、たとえその部分が表1に規定する値を満足していたとしても、その部分がその他の部分に損傷を与える温度に到達してはならない。</p> <p>箇条 7.4.2</p> <p>外部表面</p> <p>JIS C 9300-1 の7.3.2（外部表面）による。</p> <p>箇条 7.4.3</p> <p>その他の構成部材</p> <p>その他の構成部材の最高温度は、それぞれに該当す</p>	

## 技術基準との整合確認書

				箇条 7. 5	<p>る規格に規定する最高温度以下でなければならない。</p> <p>負荷試験</p> <p>溶接電源は、損傷又は故障することなく、繰り返し負荷に耐えなければならない。</p>	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7. 4. 2	<p>外部表面</p> <p>JIS C 9300-1 の 7.3.2（外部表面）による。</p>	
第十一条 第 1 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 15 箇条 15. 5	<p>機械的要求事項</p> <p>傾斜安定性</p> <p>JIS C 9300-1 の 14.5（傾斜安定性）による。</p>	
第十一条 第 2 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 15. 1 箇条 15. 2 箇条 15. 2. 2 箇条 15. 3 箇条 15. 4	<p>機械的要求事項</p> <p>JIS C 9300-1 の 14.1（一般要求事項）による。</p> <p>きょう体（外箱）</p> <p>きょう体（外箱）材料</p> <p>JIS C 9300-1 の 14.2.1 [きょう体（外箱）材料] による。</p> <p>きょう体（外箱）強度</p> <p>JIS C 9300-1 の 14.2.2 [きょう体（外箱）強度] による。</p> <p>運搬手段</p> <p>JIS C 9300-1 の 14.3 [つ（吊）り上げ手段] による。</p> <p>落下耐量</p> <p>JIS C 9300-1 の 14.4（落下耐量）による。</p>	

## 技術基準との整合確認書

第十二条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条6.2.2  箇条7.4.1  箇条7.4.3	コンデンサ  JIS C 9300-1の6.2.2（コンデンサ）による。  温度上昇限度  巻線、整流子及びスリップリング  巻線、整流子及びスリップリングの温度は、表1に規定する絶縁クラスの温度上昇限度以下でなければならない。  その他の構成部材  その他の構成部材の最高温度は、それぞれに該当する規格に規定する最高温度以下でなければならない。	
第十三条	電気用品から発せられる電磁波による危害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当			溶接電流は200A以下で、直流電流か交流電流（50Hzあるいは60Hz）であり、溶接電圧も30V以下となっており、数値シミュレーションおよび磁場計測により、ICNIRPの電磁場規制のガイドライン以下であった。このた

## 技術基準との整合確認書

[illegible]

## 技術基準との整合確認書

					<p>b)物理的損傷を加えないでその動作を変更する。</p> <p>c)自動又は手動でリセットする。</p>	
第十五条 第1項	始動，再始動 及び停止によ る危害の防止	電気用品は，不意な始動によって人体に危害を及ぼし，又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>箇条 12. 1. 1</p> <p>箇条 12. 1. 3</p>	<p>アーク溶接電源のための定格無負荷電圧</p> <p>定格無負荷電圧は，次のa)及びb)の値を超えてはならない。</p> <p>a)直流ピーク値が113 V</p> <p>b)交流ピーク値が68 V，及び実効値が48 V</p> <p>0.2秒以内に，次のc)及びd)の低減無負荷電圧許容値になる溶接電源には，JIS C 9300-1の附属書L（アーク溶接装置のためのグラフィックシンボル）のシンボル84を付記してもよい。</p> <p>c)直流ピーク値が60 V</p> <p>d)交流ピーク値が50 V，及び実効値が35 V</p> <p>0.2秒間以内に低減無負荷電圧許容値にならない溶接電源は，JIS C 9300-1の附属書Lのシンボル84を付けてはならない。この溶接電源は，前面パネル又は一次入力ON/OFF切替装置の近くに，“注意！：感電危険”を意味する次のシンボル（IEC60417-6042）を明瞭，かつ，容易に消えないように表示する。</p> <p>付加的な要求事項</p> <p>12.1.1～12.1.2に規定するいかなる設定においても，定格無負荷電圧は，表3に規定する値を超えてはならな</p>	

## 技術基準との整合確認書

					<p>い。</p> <p>電子制御した溶接電源は、次のいずれかによる。</p> <p>a)電子回路にいかなる故障が生じて、表3に規定する定格無負荷電圧を超えないように設計する。</p> <p>b)0.3秒間以内に出力端子電圧を遮断し、自動的にリセットしない保護システムを備える。</p> <p>整流器形直流溶接電源は、整流器の故障（例えば、回路開放、回路短絡、位相故障など）の場合でも許容値を超えてはならない。</p>	
第十五条 第2項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>簡条6. 2. 3</p> <p>簡条</p> <p>12. 1. 1</p>	<p>入力コンデンサの自動放電</p> <p>JIS C 9300-1の6.2.3（入力コンデンサの自動放電）による。</p> <p>アーク溶接電源のための定格無負荷電圧</p> <p>定格無負荷電圧は、次のa)及びb)の値を超えてはならない。</p> <p>a)直流ピーク値が113 V</p> <p>b)交流ピーク値が68 V、及び実効値が48 V</p> <p>0.2秒以内に、次のc)及びd)の低減無負荷電圧許容値になる溶接電源には、JIS C 9300-1の附属書L（アーク溶接装置のためのグラフィックシンボル）のシンボル84を付記してもよい。</p> <p>c)直流ピーク値が60 V</p> <p>d)交流ピーク値が50 V、及び実効値が35 V</p> <p>0.2秒間以内に低減無負荷電圧許容値にならない溶接</p>	

## 技術基準との整合確認書

				<p>電源は、JIS C 9300-1の附属書Lのシンボル84を付けてはならない。この溶接電源は、前面パネル又は一次入力ON/OFF切替装置の近くに、“注意！：感電危険”を意味する次のシンボル（IEC60417-6042）を明瞭、かつ、容易に消えないように表示する。</p> <p>箇条 12.1.3</p> <p>付加的要求事項</p> <p>12.1.1～12.1.2に規定するいかなる設定においても、定格無負荷電圧は、表3に規定する値を超えてはならない。</p> <p>電子制御した溶接電源は、次のいずれかによる。</p> <p>a)電子回路にいかなる故障が生じて、表3に規定する定格無負荷電圧を超えないように設計する。</p> <p>b)0.3秒間以内に出力端子電圧を遮断し、自動的にリセットしない保護システムを備える。</p> <p>整流器形直流溶接電源は、整流器の故障（例えば、回路開放、回路短絡、位相故障など）の場合でも許容値を超えてはならない。</p>	
第十五条 第3項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	<p>箇条 6.2.3</p> <p>入力コンデンサの自動放電</p> <p>JIS C 9300-1 の 6.2.3（入力コンデンサの自動放電）による。</p>	
第十六条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	<p>箇条 6.1.5</p> <p>絶縁耐力</p> <p>JIS C 9300-1の6.1.5（絶縁耐力）による。</p>	

## 技術基準との整合確認書

		設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。		箇条8	温度制限装置 構造 温度制限装置は、次の事項がいずれもできない構造でなければならない。 a)温度設定を変更する。 b)物理的損傷を加えずにその動作を変更する。	
第十七条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	■該当 □非該当	箇条19A	電磁両立性（EMC）要求事項 定格入力電圧が150 V以下のアーク溶接電源、及び定格入力電圧が150 Vを超える場合では、定格最大溶接電流が130 A以下のアーク溶接電源にあつては、JIS C 9300-10の要求事項を満たさなければならない。	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条19A	電磁両立性（EMC）要求事項 定格入力電圧が150 V以下のアーク溶接電源、及び定格入力電圧が150 Vを超える場合では、定格最大溶接電流が130 A以下のアーク溶接電源にあつては、JIS C 9300-10の要求事項を満たさなければならない。	
第十九条	表示等（一般）	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	■該当 □非該当	箇条19.2	注意書き 各溶接電源には、明瞭で見えやすく、かつ、容易に消えないように、次のシンボル又はこれらと同等のシンボルの組合せを用いて表示する。	
第二十条 第1号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。 一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限り、毛髪乾燥	□該当 ■非該当			長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定され



## 技術基準との整合確認書

		機を除く。)の機能を兼ねる換気扇を除く。) 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。） (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				ており、これに該当しない。
第二十条 第2号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	二 電気冷房機（産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当			同上
第二十条 第3号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当			同上

## 技術基準との整合確認書

		(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条 第4号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当			同上